

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価書】

堺市立東浅香山小学校
校長 忠見 亜由美

中学校区におけるめざす子ども像

自分の目標とゆめをもち、互いの個性を認め合える（豊かな心）

令和6年度 重点目標

学校教育目標 「一人ひとりがかがやく学校づくり」 校訓 「よく考え 協力して やりぬく子」 の育成を目指し、重点目標 1. 未来を切り拓く力の育成 （1）「総合的な学力」の育成 （2）豊かな心と健やかな体の育成
2. 安全・安心な学びの場づくりと学校力の向上 3. 学校・家庭・地域が連携・協働する教育の推進 に向けて取り組む。

「確かな学び」の現状

- 「学習スタンダード」の取組により、学習規律を守れる子どもが増えてきたが、チャイム着席や集中力という点では、課題が見られる。「学習スタンダード」の徹底を図れるよう、教職員で共通理解を図っていく。
- 「自主学習ノート」の取組では、個に応じた活用が広がってきている。
- わかりやすい授業をめざした授業のユニバーサルデザインの取組を学校全体で推進することによって、学習の定着や理解についての成果があらわれている。

「豊かな心・健やかな体」の現状

- 「東浅香山10の約束」の徹底や交流タイムの取組を通して、規範意識の向上や自尊感情の醸成がみられた。今年度も、教職員でルールなどの徹底や共通認識を図っていく。
- あいさつに関しては、返してくれる子どもは増えてきている。今後は、自主的にあいさつができるよう、取組をすすめていく。
- ゴーゴーランニングなどの運動に関する取組を通して、楽しみながら体力向上を図ることができている。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組、★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～11月)	達成状況（年度末）	
								自己評価	学校関係者評価
確かな学び	教科学力の向上	基礎基本の確実な定着を図るとともに、課題をつかみ考え抜く授業を展開する。	めあてをもって学習する姿勢を徹底するとともに、繰り返し学習することによって、基礎基本の確実な定着を図る。	めあてをもち、問題解決のできる授業が増え、定着度テスト等で基礎基本の定着が見られる。	定着度テスト 学力調査等	毎月 5月	○	めあてをもち、学習する姿勢を徹底するよう、声かけをしている。	◎ ◎
			考えを説明・交流する力、学んだことを活用する力を育成できる指導を工夫する。	考えを相手に伝え、学び合う場面が授業で多く見られ、活用力の高まりも見られる。	学力調査等 学校教育アンケート	5月 12月	○	「考えや思いを伝えあえる子」の育成をめざし、各学年の発達段階を踏まえた指導を工夫している。	○
	学習の基礎力の向上	学習規律のさらなる定着を図るとともに家庭学習習慣を確立する。	●「学習スタンダード」による学習規律のさらなる徹底を図り、すべての子どもにわかりやすい授業を創造する。	子どもの授業に対する集中度が増し、学ぶ意欲が向上する。	実施状況 学校教育アンケート	随時 12月	○	学校全体で「学習スタンダード」が徹底できるよう、取組をすすめている。	○
			全学年で「自主学習ノート」の取組をすすめ、家庭学習習慣を定着させる。	自主学習ノートの取組の定着とともに、家庭学習、読書習慣が身に付く。	実施状況 学校教育アンケート	随時 12月	○	自主学習ノートの定着に向け、学校掲示や教室掲示をすすめている。	○
			タブレットを効果的に活用し、子ども一人ひとりが考える授業を展開する。	多様な方法で情報収集したり、自分の考えを表現したりできる。 活用率で昨年の数値を上回る。	実施状況 学力調査質問紙 CBT調査	随時	○	日常的な活用や定期的な持ち帰りをを行い、活用は増えている。	○
	個性を伸ばす	学習支援対策を計画的・継続的に実施し、個に応じたきめ細かな指導を充実する。	●授業のユニバーサルデザインをさらに推進するとともに、一人ひとりの子どもの特性に合わせた指導・支援を充実する。	学習支援対策により、学習の理解や定着が深まり、学力が向上する。	実施状況 学力調査等	随時 5月	○	学習支援対策の推進により、個に応じた指導を受ける子どもが増えてきている。また、教員研修を行うなど、授業や教室環境のユニバーサルデザインについてもすすめている。	◎ ○
豊かな心・健やかな体	豊かな心の育成	豊かな心、思いやりのある心を育成し、いじめがおこらない集団づくりに取り組む。	●「東浅香山小学校10の約束」の徹底に向けた子どもの意識が高まる取組により、さらに規範意識の醸成を図る。	校内の様々な目標やルールを守ろうとする意識が高揚し、静かな学習環境が整う。	実施状況 学校教育アンケート	随時 12月	○	「東浅香山小学校10の約束」を徹底できるよう、全教職員で共通理解を図りながらすすめている。	○
			★あいさつの徹底、感謝の気持ちをもつことができる指導などを通して、思いやりのある心を育て、いじめがおこらない指導を徹底する。	子ども一人ひとりの自尊感情が高揚するとともに、いじめがおこらない集団となる。	実施状況 いじめアンケート	随時 毎学期	○	児童会を中心にあいさつ運動などの取組を通して、あいさつの意識を向上できるようにしている。	○
		学校が楽しいと思う子どもが増えるような体制づくりに取り組む。	★すべての子どもの対応について、家庭との連携を図るとともに組織的な体制で取り組み、スクールカウンセラーや関係機関とも連携し、改善に導く。	不登校ぎみの子どもが減り、生き生きと学校生活を過ごす子どもが増える。	実施状況 学校教育アンケート	随時 12月	○	定例の会議や臨時のケース会議の中で、個々の児童の実態に合わせ、対応を考えている。内容によっては、外部機関や専門家とも連携をしている。	○
			●交流タイム等を通して、集団の一員としての意識を高めるとともに、それぞれの役割を意識し、自尊感情を高める取組を推進する。	縦割り活動を通して、高学年はリーダーとしての意識が高まり、校内全体で友達のよさを認めることができる。	実施状況 学校教育アンケート	随時 12月	○	交流タイムや「ひがあさフェスティバル」などの取組を通して、高学年のリーダーとしての意識が育つようにしている。	○
	健やかな体の育成	運動に親しむ環境を整え、体力を向上させるとともに、体力の礎となる健康教育・食育を充実させる。	ランニング等の継続した取組により、運動の楽しさを実感させるとともに体力向上の推進を図る。	運動することが楽しいと思う子どもが増え、体力が向上する。	実施状況 学校教育アンケート	随時 12月	○	ゴーゴーランニング等の取組を通して、体力向上の推進を図っている。	○
			基本的な生活習慣を確立するとともに、家庭の意識が向上する健康教育・食育をより推進する。	朝食をとる、質のよい睡眠をとる子どもが増えるなど、基本的な生活習慣が確立する。	実施状況 学校教育アンケート	随時 12月	○	生活アンケートの実施により、児童の基本的な生活習慣の意識が向上するよう、取組をすすめている。	○
地域協働	信頼される学校体制	学校力のさらなる向上をめざすとともに、学校・家庭・地域の協働によるひろがる教育を推進する。	「学校ホームページ」「校報」「生徒指導新聞」等で積極的に学校の方針や日々の教育活動を発信し、学校・家庭が協働する取組を進める。	学校の教育方針・教育活動に対する理解が深まる保護者が増える。	実施状況 学校教育アンケート	随時 12月	○	ホームページを通して、学校の教育活動の様子を地域・保護者に発信している。	○
			登下校等の見守り活動をはじめとし、校区での安全、健全育成等に地域と協働して取り組む。	子どもたちが安全に登下校し、学校生活が楽しいと感じる子どもが増える。	実施状況 学校教育アンケート	随時 12月	○	地域の方々やPTAの安全見守り委員の方々が、子どもの登下校の安全を見守ってくださっている。	○ ◎

校長より（年度末）

今年度は、できる行事も増え、子どもたちが意欲的にいきいきと学校生活を送ることができた。特に、学校行事などの学年での取組は、子ども一人ひとりの達成感や自尊感情の醸成につながっていた。また、個に応じた支援や対策についても、全教職員で共通理解を図り、連携して取組をすすめることができた。しかし、学校のルールの徹底においては課題も見られた。教職員の自己評価や学校アンケート結果、学校関係者評価者の皆さんからのご意見をしっかりと受け止め、来年度も、全教職員でさらなる共通認識や理解を深め、一人ひとりがかがやく学校となるよう、全教職員で取り組んでいきたい。

学校関係者評価者から（年度末）

今年度も行事を通して、子どもたちのいきいきとした姿がたくさん見られた。学習のルールやスマホのルールなどは、保護者との連携や、保護者が意識し取り組んでいくことも必要である。そのため、学校としても、PTAの活動としても取り組んでいきたい。ゴーゴーランニングのような、子どもにやりぬく力をつける取組は、今後も続けていってほしい。